

再導入イトウの遡上を 3年連続で確認

オビラメの会会員で倶知安町在住の藤原弘昭さんと、水中写真家の足立聡さんが5月11日、尻別川水系倶登山川のイトウ再導入実験地付近で、産卵のために遡上してきたとみられるイトウ雌雄ペアを発見し、足立さんが撮影に成功しました。藤原さんはその前日、近くで婚姻色に染まった雄イトウ3尾の姿も確認しました。

足立さんは5月15日、4日前の撮影地点近くで、イトウのものと見られる産卵床2個を確認。

さらに約1カ月後の6月8日、

北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場の川村洋司さんが付近で改めてイトウ産卵床を探查した結果、距離をあけた2カ所で少なくとも2個（ほかに不明瞭な7個）を確認しました。2ペア以上が産卵に成功した可能性があります。

2012年5月、藤原さんによってこの再導入実験河川で初めて、再導入イトウの繁殖行動が動画撮影されて以降、3シーズン連続でイトウ遡上が確認されました。

2014年5月11日、倶知安町内の尻別川水系倶登山川流域で、足立聡さん撮影。右が雄、左が雌。いずれもアブラビレがなく、「オビラメの会」が2004年以降に再導入した人工孵化放流イトウだと分かる。

ぜんぶ見せます！ オビラメの会「見まもり隊」日誌

2014 年4月27日～5月20日

まとめと写真／大石剛司（オビラメの会会員）

神奈川県横浜市在住の大石さんは、イトウ遡上中の全期間にわたって
尻別川に滞在し、「見まもり隊」活動に貢献くださいました。

大石さんのブログ <http://bonworld.sblo.jp>

文中一部敬称略



月日(曜日)

イトウ確認数

訪問者数

04/27 (日) ♂1 ♀0

山根さんが今年最初の遡上を確認。

12:00 山根 IN

16:00 大石 IN

17:00 大石 OUT

19:00 山根 OUT

11:00 見学者1名。♂を1尾確認した。「今年で連続3
回見えた」と喜んでいた。

13:00 親子連れ2名が本流との合流点で川を観察して
いた。

15:30 川村 IN

16:30 川村 OUT

泊：大石

04/28 (月) ♂1 ♀0

08:30 大石 IN

08:47 ♂1。手前の水門の上流。

08:58 吉岡 IN

09:25 ♂1。手前の笹の最下流。

09:25 吉岡 OUT

12:00 水が濁り始める。

泊：大石

04/30 (水) ♂2 ♀0 2組2人

04:30 気温4度

04:30 大石 IN

04:30 確認出来ず。

07:30 ♂+♀を2組確認。見学男性1名。

08:30 車1台が手前の水門より下流側で10分位停車し
ていた。

08:27 ♂1。手前の笹の上流。

08:30 草島 IN

09:00 ♂1。手前の水門と合流点の中間。

10:30 草島が♂+♀を2組。

11:01 倶知安町役場の紺谷さんがハウスの設置の写真
の撮影。

11:07 藤原さんが差し入れを持参。ありがとうございます。

13:07 見学者1名。「昔(50年位前)、川の上流に住ん
でいた」とのこと。

14:30 吉岡 IN

04/29 (火) ♂1 ♀0 1組2人

06:19 気温4度

06:19 大石 IN

06:25 ♂1。手前の水門の上流。

07:50 釣り人2名が到着。大石が説明したが釣りを開始
した。ルアーで5分位、手前の笹の上流で釣っていたが、
あきらめたようで車に戻る。釣っている間は土手から監
視していたのがプレッシャーになったかもしれない。

10:00 ハウスの設置開始。草島、吉岡、菅原、足立、平田、
大石

16:30 草島 OUT、吉岡 OUT

24:00 鎌田さん IN。仕事を終わらせてから到着。ありがとうございます。

泊：鎌田、大石

05/01 (木) ♂2 ♀0 2組2人

05:00 気温 7 度

05:00 ♂1。

07:20 車 1 台が手前の水門の下流側で停車していた。イトウの観察の為←鎌田さんが確認。

10:10 地元の方が見学。

12:00 鎌田 OUT

13:13 ♂2。

泊：大石

05/02 (金) ♂3 ♀1 4組6人

04:00 気温 9 度

05:55 ♂1。手前の水門の下流。

06:20 ♂2。手前の笹の最下流。

07:51 見学者 1 名。「昨年从俱知安に住んでいる。子供に見せたい」とのこと。パンフレットを渡した。

08:30 草島 IN、川村 IN

09:22 見学者 3 名。

10:05 ハウス前で♂1。

11:15 手前の笹の中間で♂1。

11:30 手前の笹の前側で♂+♀。

12:00 見学者 1 名。ハウスの上の白泡で♂1。

12:20 橋の下で♂1 (10:05 の♂が移動?)。

12:30 坂田 IN

16:00 草島 OUT

17:00 川村 OUT

17:05 ♂3。ハウス前。

17:30 見学者 1 名。

21:30 山根 IN

22:40 山根 OUT。駐車場でパトカー警察官の職務質問を受けた。事情を説明。

泊：坂田、大石

05/03 (土) ♂3 ♀1 2組2人

05:00 気温 5 度

06:00 藤盛 IN

07:00 ♂1。

07:50 山根 IN

07:50 ♂3、♀1。

09:30 見学者 1 名。

10:00 ♂2。バトルをしていた。

13:00 見学者 1 名。♂2、♀1。

15:00 吉岡 IN

17:00 坂田 OUT。本降りの雨、増水して濁る。イトウは見えない。

18:00 藤盛 OUT

泊：山根、大石

05/04 (日) ♂2 ♀1 3組7名

06:00 気温 12 度

06:30 見学者 2 名 (うち子供 1 名)。



オビラメハウスそばまで遡上してきたイトウを、足立聡さん特製の水中スコープで観察しているところ。

06:30 ♂2。
08:12 川村 IN
09:30 草島 IN、山根 OUT
10:43 見学者2名。パンフレットを渡した。
14:23 見学者3名。ハウスの前で♂+♀を確認できた。
2名入会。
16:30 草島 OUT、川村 OUT
16:40 坂田 IN
17:20 大石 OUT
17:50 見学男性1名。「今年も来ているのですか? が
んばってください」とのこと。
泊: 坂田

05/05 (月) ♂2 ♀2 3組6名

04:30 水量多い。濁り小。風小。晴れ→曇り。川底に
礫はあるけど、流速があるので、産卵にはきつそう。例
年の場所に定位しているのを見ると、やはりこれらの場
所が幾分でも流速が緩和されているのだろう。
06:00 中フチに♂1 (赤)。小屋前に♂1 (朱)。
06:20 小屋前の♂ (朱) がずうっと定位。
06:40 ♂の動きがあわただしくなる。すると♀が来た。
06:45 突然♂ (赤) が来た。バトル!! ♂ (赤) が勝。
07:00 ♀が上流へ。♂ (赤) も追う。♂ (赤) が橋下
に定位。♂ (朱) は小屋前。♀は堰堤下に定位。
07:30 ♂ (朱) が♀のところに移動。
07:45 足立 IN
07:50 ♂ (赤) が上から下がってくる。そしてバトル。
入れ替わる。
08:45 藤原 IN
09:00 草島 IN、大石 IN
10:20 中流 (橋上) ♀2尾がヒラを打つ。掘っている
のか? 埋めているのか? ♂は無視していた。
10:30 見学者2名。
11:18 ハウスの前の少し上で産卵床を掘る行動2回。
11:24 行動1回。
11:29 行動1回。
11:35 堰堤の下に♂+♀が移動。
16:50 草島 OUT、坂田 OUT、足立 OUT
17:30 見学女性1名 (入会)。案内は藤原さん。夕方は雨。
泊: 藤原、大石

05/06 (火) ♂5 ♀3 5組10人

04:00 気温7度
04:47 ♂3。
05:30 ♀1。昨夜の雨の影響か若干にごり。
07:00 見学者2名 (おじいちゃんとお孫さん)。見学者
2名 (父子)。
07:50 坂田 IN
08:00 足立 IN
08:30 ♂5、♀3
09:00 草島 IN、大石 IN
09:30 川村 IN
10:50 見学者2名。見学者2名
13:00 見学者3名
15:00 見学者1名 (ホタレンジャーの方)
15:10 見学者2名
16:30 草島 OUT、川村 OUT
17:30 藤原 OUT
17:41-19:22 ハウスの上流で♂+♀が堀行動を29回。
暗くなるまで見ていたが時間切れ。
18:03 見学者4名。パンフレットを渡す。チョコレート、
せんべい、コーヒーの差し入れ。美味しかった。
18:30 見学者2名。「先日きた時は濁っていて見れな
かった。今回は見られた」と喜んでいた。
泊: 大石

05/07 (水) ♂4 ♀2 3組5名

04:08 気温9度
04:45 ♂3
05:09 対岸の看板の下に♂2が並んでいる。
05:50 藤原さん+見学者1名
06:45 見学者1名
07:18 草島 IN。♂4。
08:30 堰堤の上に♂1。対岸の笹の下に♂+♀。
08:30-12:21 対岸の笹の下に♂+♀。4時間粘ったが
産卵は見られず。左上に1m移動、右上に1m移動。
もしかしたら産卵?
12:21 ♂が入れ替わった。新しい♂は顔に傷が3カ所
あり。
14:30 吉岡 IN
16:12 見学者3名。
16:15 草島 OUT、吉岡 OUT



お願い!

尻別川の本流・支流では

イトウのキャッチ&リリースを!

希少魚種イトウ保護のために
イトウを絶滅させないため、特に産
卵期である3月から6月の期間は、
遡上する河川の中上流や産卵場所
でのイトウの保護にご協力ください。

北海道環境生活部環境局自然環境課

イトウは
地域の宝もの
Stop! 絶滅

オビラメの会

イトウの自然繁殖地を見学に訪れた「ホタレンジャー」のみなさんと記念撮影。左端は草島清作オビラメの会会長。

16:25 ♂3、♀1。

18:58 ♂4、♀2。

19:03 藤原 OUT

泊：大石

05/08 (木) ♂4 ♀3 5組9名

04:30 気温5度

04:43 ♂4

07:41 見学者1名

08:00 草島 IN

09:08 ♂+♀、♂+♀

10:00 見学者1名

10:40 沼田 IN

10:40 見学者1名

10:40 堰堤下のペアの♀が堰堤上に移動。♂は堰堤下にとどまる。別の♂が堰堤上に移動。

11:30 見学者1名

11:40 見学者2名。堰堤下のペアを観察。

12:50 沼田 OUT

13:15-16:30 堰堤上の大きな淵の下流の対岸で♂+♀。

14:00 草島さんが見学者5名に対応

14:06 上記のペアに♀が参加。♂1+♀2になる。

14:17 上記の♂が後から来た♀に乗り換え。

14:44 上記のペアは産卵したかもしれない。淵の下流で、♂3+♀2になった。

15:00 見学者1名

16:00 草島 OUT

17:30 対岸の看板下に♂2、♀1。

21:40 山根 IN

泊：山根、大石

05/09 (金) ♂4 ♀2 4組5名

05:00 気温12度

05:30 雨、本降り。

06:00-07:00 ♂3、♀2。見学者1名「小さな♀がいる」とのこと。

08:30-09:30 ♂3、♀1 (うち1ペア)。

10:30 見学者1名 (村山様)

11:00-11:20 ♂4、♀2。手前の笹の最下流で堀行動。
 13:45 見学者1名
 14:05 坂田 IN
 14:30 吉岡 IN
 15:00 見学者2名
 16:30 草島 OUT、吉岡 OUT
 17:30 藤原 IN
 19:00 山根 OUT
 泊：坂田、藤原、大石



ガス・水道・電気のないオビラメハウスでは、キャンプ用品が活躍。
 この日は豪華にジンギスカンで鋭気を養いました。

09:00 川村 IN 下流の右岸に♂1。見学者4名。残念ながら魚は見えず。見学者3名。残念ながら魚は見えず。
 見学者3名。差し入れをいただきました。残念ながら魚は見えず。
 09:30 見学者1名
 09:50 見学者2名
 10:45 ♂+♀
 11:00-13:30 偵察した倶登山川で♂+♀。産卵床1カ所。
 13:30 藤原 IN
 14:00 ♂3 ♀1
 15:00 川村 OUT、藤原 OUT、大石 OUT
 15:55 見学者2名。見れなかった。
 16:00 1名入会。
 16:30 草島 OUT、足立 OUT、魚見えない。
 17:00 山根 IN
 17:10 吉岡 IN
 17:40 菅原 IN
 17:50 見学者1名
 18:10 山菜取りの女性2名
 19:00 藤盛 OUT
 泊：山根、坂田

05/10 (土) ♂4 ♀0 4組 24人

04:30 気温 12 度
 07:48-08:45 ♂3 尾
 09:30-10:00 見学者 21 名 (ホタレンジャーの方)
 11:00 ♂4
 13:00 山根 IN
 13:00-16:00 見学者数組
 15:00-16:00 濁りで見つけれず。
 19:00 濁りが強くなる。
 19:00 藤原 OUT
 20:10 山根 OUT
 泊：坂田、大石

05/11 (日) ♂2 ♀1 7組 15人

05:00 気温 14 度
 05:30 藤盛 IN、♂2
 06:00-07:00 見学者 2 名
 08:00 足立 IN
 08:05 草島 IN

05/12 (月) ♂1 ♀0 3組 4人

05:00-07:00 曇り。♂1 (笹の所)。
 06:30 藤盛 IN
 07:00 見学者 1 名
 07:30 見学者 1 名
 09:00 草島 IN
 09:30 草島さん、藤原さんが倶登山川へ。
 10:00 魚は見えず。
 11:00 大石 IN
 14:00 草島 OUT
 17:00 見学者 2 名。見学者 1 名。藤原 IN (差し入れありがとうございます) 魚見えず。濁り多い、水量多い。
 19:00 坂田 OUT、山根 OUT
 泊：大石、藤盛

05/13 (火) ♂1 ♀0 3組 51人

昨夜から小雨
 05:00 気温 12 度

ぜんぶ見せます!「見まもり隊」日誌

06:00 藤原 IN、♂1。左岸の笹の上。
07:10 ♂1。左岸の笹の上。
08:00 山根 IN
08:30-09:30 俱登山川で♂1
10:00 足立 IN
10:30-11:50 倶知安小4年生44人、引率の先生方5名。
イトウの♂を見つけ歓声が上がっていた。
11:15 見学者1名。♂1
11:30 見学者1名(北海道新聞記者さん。足立さんが
インタビューを受けた)。♂1
12:20 ♂1がハウスの上まで上がってきた。
13:00- 俱登山川で産卵床確認。♀1、♂は見えず。
15:30 吉岡 IN
16:00 草島 OUT、足立 OUT
16:40 吉岡 OUT
18:00 藤盛 OUT
泊: 山根、大石

05/14 (水) ♂2 ♀0 1組1人

昨夜に小雨
04:30 気温 12 度
06:30-06:50 ♂1 (手前の笹の最後)。♂1 (手前の笹
の最後のさらに下流)。
06:50 見学者1名
07:15 草島 IN
07:30-10:00 大石が俱登山川偵察。確認できず。
10:00-10:20 ♂2が動き回る。
12:30 草島 OUT
13:30-16:00 山根が俱登山川偵察。 確認できず。支流
の水量はかなり減ってクリア。本流の水量はまだ多い。
14:45 吉岡 IN
16:00 雨で増水。
16:30 吉岡 OUT
17:50 藤原 IN
18:30 藤原 OUT
泊: 山根、大石

05/15 (木) ♂2 ♀0 1組1人

晴れ
05:30 気温 14 度
07:10-07:45 ♂1 (対岸の笹の下)、♂1 (対岸の水門

の下流)。水量は元に戻っている。
07:30 見学者1
12:30 ♂1 (朱)(水門付近)。水量はグッと減りクリ
アになった。
15:30 ♂1 (対岸の笹の下)
13:40-16:00 山根が俱登山川偵察。魚は見えず。15-
20cm 位の魚影あり。
16:10 草島 OUT
16:00-17:00 足立が俱登山川偵察。支流合流点から土
管の間で発見できず。産卵床と疑わしき場所が2カ所。
畑の脇にクマの糞と足跡あり。
19:00 雨が降り出す。
泊: 山根、大石

05/16 (金) ♂0 ♀0 1組1人

07:00 本格的な雨は久しぶり。水量は5-6cm 位上が
るも、濁りは少し。見学者1名。
08:00 右岸をパトロールするが発見できず。雨、強まる。
また水が増えた。
11:30 濁流になる。日中はずっと雨。イトウは発見で
きず。
19:00 山根 OUT
泊: 大石

05/17 (土)

夜間は時々小雨。川はささ濁りで水量は戻った。
04:30 気温 12 度
05:45-06:30 発見できず
06:30 山根 IN
07:15-08:30 本流合流点で♂1
14:50 吉岡 IN
16:30 吉岡 OUT
17:00 坂田 IN
20:00 山根 OUT
泊: 坂田、大石

05/18 (日)

04:20 曇り、風小、寒い
05:40-06:20 左岸シラカバが切れる辺りに産卵床があ
る。水位が落ちると干上がりそう。魚体は確認できなかつ
た。そろそろ終わりかな? 2カ月後に稚魚が浮上して

くれていることを祈るばかり……。

06:50 山根 IN

07:10 草島 IN

07:40 山根、坂田、大石は採卵へ。

08:00-12:00 採卵。

12:00-14:00 打ち合わせ

15:00 山根、坂田、大石、足立はハウスに戻る。

15:40 草島 OUT、坂田 OUT、足立 OUT、草島 OUT、
大石 OUT、山根 OUT

05/20 (火)

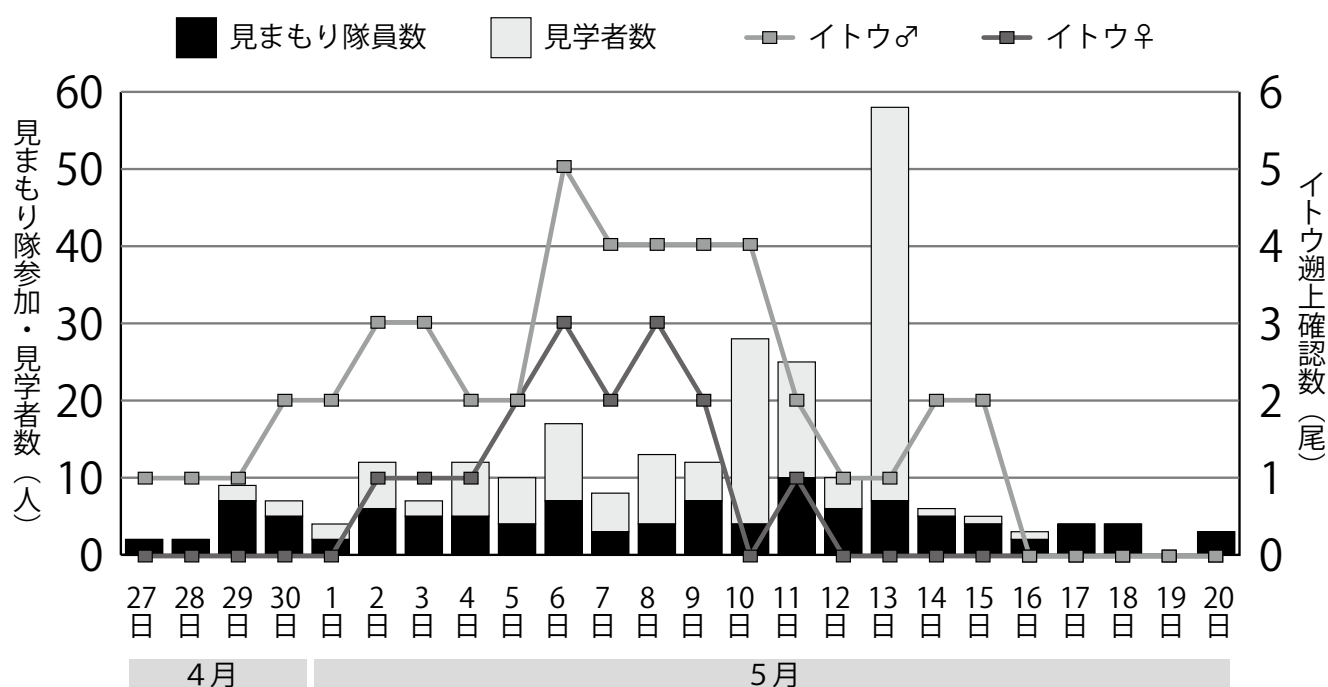
14:00-15:00 小屋の撤収の準備。ロープ取り外し、杭の撤去、パネルの撤去。撤去した部材は小屋に保管。テーブル、椅子、ストーブ、灯油タンクは吉岡の預かり。作業者：吉岡、山根、大石、ファイン社員のみなさん。



皆様、事務局吉岡です。
皆様のご協力のおかげ
で今年のイトウ遡上見
守りも無事に終了する
ことが出来ました。大
変ご苦労さまでした。

皆様のイトウを思う行
動に頭が下がる思いです。今後ともご協
力をよろしくお願い致します。神奈川か
ら参加の大石さん、ほんとうにご苦労さ
までした。北海道を楽しんでいってくだ
さい。皆様に感謝 !!!

2014 年度「見まもり隊」活動一覧



見まもり隊参加者数	延べ 108 人・日
見学者数	延べ 153 人・日
合計	延べ 261 人・日



「イトウ」分科会参加者らと標識魚66尾を放流

第22回環境自治体会議ニセコ会議が5月22日～24日、ニセコ町民センターで開催され、オビラメの会が企画した第4分科会「南限のイトウを守る～オビラメの会の協働活動」（23日午前）には、全国から集まった約20名が参加しました。川村洋司さんらの解説の後、チャーターバスに乗り込んでイトウ再導入実験の舞台である尻別川倶登山川へ。2012年5月にオビラメの会の人工孵化で誕生したイトウ幼魚66尾（標識つき）を放流しました。

放流イトウのプロフィール

人工授精日	2012年5月20～26日
個体数	66尾
平均尾叉長	14.7cm
平均体重	35.6g
放流日	2014年5月23日
放流場所	尻別川水系倶登山川（倶知安町）

撮影：坂田潤一氏（碧風舎、『釣道楽』発行人）

採卵に向けて健康増強

飼育イトウ親魚の採卵会レポート

オビラメの会のメンバーたち約20人が5月18日、倶知安町内で飼育しているイトウ畜養池で人工採卵作業に臨みました。全19尾のイトウたちを池から取りあげ、北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場の川村洋司さんが1尾ずつ丁寧に麻酔をかけて、腹部の触診で状態を探りました（右の写真。撮影＝平田剛士）。雄3尾が「成熟」と判定されましたが、昨年に引き続き、残念ながら抱卵している雌イトウは確認できませんでした。

体長70cm前後に成長したイトウたちは大食漢。「来春の抱卵・成熟を確実にするには、今年の夏から秋にかけて、十分な量の餌を与えて最高の栄養状態に仕向けてやる必要があります」（川村さん）との助言を参考に、従来の生き餌（ウグイ、小型ニジマス）に加え、冷凍魚（オオナゴ、ドジョウなど）も積極的に利用することにしました。



尻別川の未来を考えるオビラメの会 2014 年度通常総会のご案内

いつも「オビラメの会」へのご支援をいただき、まことにありがとうございます。「オビラメの会」は、絶滅危惧種イトウ尻別川個体群の復元を目指して 1996 年に設立されました。2001 年立案の「オビラメ復活 30 年計画」にもとづき、国際自然保護連合再導入指針などを遵守した科学的手法によって地域の生物多様性に最大限配慮しながら、目的達成のための活動を続けています。この間、住民のみなさまや関係機関との協働により、尻別川のイトウ絶滅の要因だった多くの課題が克服され、たくさんのイトウがすんでいたかつての尻別川の姿を取り戻すまで、あともう少しというところまでたどり着くことができましたと考えています。「オビラメの会」は、会員のみなさまや、協力企業・機関などからの会費・助成金・寄付金などを財源に活動している非営利の市民グループです。これから差しにかかる「オビラメ復活 30 年計画」の後半に向けて、引き続きみなさまのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

オビラメの会 2014 年度通常総会

日時 2014 年 6 月 29 日（日曜日）午後 3 時～5 時
会場 ニセコ町民センター
北海道虻田郡ニセコ町富士見
会費 ひとくち 2000 円（2014 年度会費）

2014 年度総会記念企画

第 1 回尻別川ウグイ釣り大会

「オビラメの会」が畜養池で飼育中の尻別イトウ親魚に与えるためのウグイを尻別川で釣って集めます。総会当日の午前中に実施。目標漁獲量は 20kg です。ご参加希望の方は前日までに事務局までご連絡ください。

「オビラメの会」は新入会を歓迎します

「尻別川の未来を考えるオビラメの会」は、会費と寄付金などで運営される市民団体です。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費は 2000 円です。郵便局の振り込み用紙に住所、氏名、電話番号を明記のうえ、入会希望と書き添えて、右のゆうちょ銀行口座にお振り込み下さい（手数料はご負担願います）。会員期間はお振り込みいただいた日から年度末（5 月）までです。おおむねひと月以内にニュースレターをお届けします。

■年会費 2000 円
■ゆうちょ銀行
02720-9-11016
■加入者名「オビラメの会」

会員のみなさまへ

2014 年度の年会費納付時期を迎えています。手続きはお早めに。

WANTED



標識オビラメ見つけたら
☎ 0136-44-2472
オビラメ事務局 マテ

オビラメの会ニュースレター 第44号(2014年6月発行)

OBIRAME Newsletter No.44 June 2014

■発行 ■ 尻別川の未来を考えるオビラメの会
■編集 ■ 平田剛士
■印刷 ■ (株)須田製版(北海道滝川市栄町3-5-16)
■発送 ■ 吉岡俊彦
■口座 ■ ゆうちょ銀行 02720-9-11016 オビラメの会
■事務局 ■ 北海道虻田郡ニセコ町富士見65 吉岡俊彦方
〒048-1501 TEL/FAX 0136-44-2472
<http://obirame.fan.coocan.jp/>
©2001-2014 Obirame Restoration Group

水と空気、みどりの大自然

ニセコが好きだ

楽しんだあとは川を語ろう

まぐろ屋十割

ニセコ町富士見 65 TEL/FAX 0136-44-2472

Email / itou110@sa2.gyao.ne.jp